

**新型コロナウイルス対応緊急支援助成
事業計画（実行団体）**

事業名(主)	こどもたちのための無料の学習支援
事業名(副) ※任意	不登校の子供たちのための居場所づくり

入力数 主 16 字 副 18 字

実行団体名	特定非営利活動法人風車
資金分配団体名	特定非営利活動法人とちぎボランティアネットワーク

優先的に解決すべき社会の諸課題

領域	分野
<input checked="" type="checkbox"/> 1) 子ども及び若者の支援に係る活動	<input checked="" type="checkbox"/> ①経済的困窮など、家庭内に課題を抱える子どもの支援
	<input checked="" type="checkbox"/> ②日常生活や成長に困難を抱える子どもと若者の育成支援
	<input checked="" type="checkbox"/> ③社会的課題の解決を担う若者の能力開発支援
<input checked="" type="checkbox"/> 2) 日常生活又は社会生活を営む上での困難を有する者の支援に係る活動	<input checked="" type="checkbox"/> ④働くことが困難な人への支援
	<input checked="" type="checkbox"/> ⑤社会的孤立や差別の解消に向けた支援
<input checked="" type="checkbox"/> 3) 地域社会における活力の低下その他の社会的に困難な状況に直面している地域の支援に係る活動	<input checked="" type="checkbox"/> ⑥地域の働く場づくりの支援
	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦安心・安全に暮らせるコミュニティづくりへの支援

上記以外 その他の解決すべき社会の課題	<input type="checkbox"/>
------------------------	--------------------------

入力数 0 字

SDGsとの関連

ゴール
1. 貧困をなくそう
1.3 各国において最低限の基準を含む適切な社会保護制度及び対策を実施し、2030年までに貧困層及び脆弱層に対し十分な保護を達成する。
4. 質の高い教育をみんなに
4.1 2030年までに、全ての子供が男女の区別なく、適切かつ効果的な学習成果をもたらす、無償かつ公正で質の高い初等教育及び中等教育を修了できるようにする。
4.a 子供、障害及びジェンダーに配慮した教育施設を構築・改良し、全ての人々に安全で非暴力的、包摂的、効果的な学習環境を提供できるようにする。

実施時期	2021年 6月 ~ 2022年2月	事業 対象地域	全国 <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> 特定地域 (栃木県)	事業対象者： (事業で直接介入する対象者と、その他最終受益者を含む)	不登校や引きこもりに悩む小中学生 特定の理由により塾に通えない児童や生徒 不登校や引きこもりの子供を持つ親と家族 特定の障がいを持っているために社会に溶け込むことが難しい人たち 社会貢献を目指す若者や学生	事業 対象者人数	30人
------	--------------------	------------	--	---------------------------------------	--	-------------	-----

I. 団体の社会的役割

(1) 団体の目的
「みんなで一緒に協力し、みんなが助け合い、不安や心配に1人で悩むことがなくなりみんなが笑顔になれる幸せな社会を目指すこと。みんなが家族のように過ごせる居場所を増やしていくことを目的とする」 不登校や引きこもりの数が年々増加している今、まずは根本的な原因を一つひとつ解決していくことが重要だと思う。そのための活動として子どもたちや悩んでいる親たちが気軽に過ごせる居場所を増やしていくことと勉強についていけないことで不登校になってしまっている子どもたちや経済的理由や何等か事情で塾に通えない子どもたちの支援を学生たちの力も借りて行っていく。
(2) 団体の概要・事業内容等
・障がい者施設や高齢者施設でのボランティア活動（イベントのお手伝い等） ・地域活性化のためのイベントの企画や実施（ウォーキングや歴史巡り、フリマなどの開催） ・不登校や引きこもりに悩んでいるお子さんと保護者のための居場所として毎週水曜日の10時から20時まで「風の家」を運営 ・制服バンク活動 ・大学生や元教師による無料の学習支援

入力数 (1) 270 字 (2) 167 字

II. 事業の背景・社会課題

新型コロナウイルス感染症により深刻化した社会課題
学校においても家庭においてもコロナの影響で活動の自粛や行動が制限され、友達との会話も自由にはできない状況となり子供たちもかなりのストレスを抱えていると思います。 不登校や引きこもり問題に関しても年々増加傾向にあり、学校だけでは対応しきれない状況になってきていると思います。いじめにより学校に通えなくなってしまった子供たちへの対応はとて難しく、復帰するにはとても時間がかかります。また、復帰したとしても簡単に授業の遅れは取り戻せずに授業についていけずに再び不登校になってしまうことがかなりあります。また、学校に通えないことで勉強の遅れや将来に対する不安は子どもだけでなく親にとっても大きな悩みです。不登校や引きこもりをなくすためには居場所や学習支援はかなり必要性を感じます。 また、コロナの影響で仕事が無くなったり収入が減ったりしている家庭も増え、貧困問題もかなり深刻な状況になっています。当然、子どもたちへの影響も大きく、塾に通えない子どもも増えています。 私たち風車では、不登校や引きこもりに悩んでいる子どもやその保護者の居場所として「風の家」を運営していますが、その中で感じたことは、貧困問題は子供たちにも大きく影響しているということでした。子ども食堂や無料の学習支援など、すべての子供たちが安心して過ごせる居場所を増やしていくことはとても大切なことだと思います。 これからは、将来ある子供たちのためにできる支援をみんなで考え、協力して課題解決に取り組んでいかなければならないと考えます。

入力数 650 字

III.事業内容

<p>(1)事業の概要</p> <p>現在活動している居場所「風の家」にて大学生や教職経験者による無料の学習支援を通して不登校や引きこもりになっている子供たちに学習の遅れを少しでも取り戻してもらおう。また、貧困問題や特定の理由で塾に通えない子どもたちの支援に繋げる。勉強だけでなく、様々な悩みを話せる居場所の役割も担う。また、運営を所属大学生や精神的な障がいをもっていることで社会に溶け込むことが難しい人たちが行うことにより、サポートをする側の自己実現や自己有用感の向上につながる。若者の中で社会貢献に対する意識を高め、助け合いの精神を育むことが期待できる。SNSや広報誌を通して、活動を地域住民に発信し、支援を得る仕組みを作る。</p>
--

入力数 296 字

<p>(2)事業実施後（1年後）以降に目標とする状態</p> <p>学校復帰や将来に対しての子供たちや親たちの不安解消の場としての役割を担うことと引きこもり対策に繋がる居場所の確立。学校以外の無償で教育を受けられる機会として認知度が高まり、必要とする児童生徒や保護者に利用され、対象ではない人々にもセーフティーネットとして知られる。継続的な活動とその効果的な発信によって、関わる学生の年齢層と人数が拡大し、団体とその活動を支援してくれる人も増加する。</p>
--

入力数 193 字

(3)今回の事業実施で達成される状態（アウトプット）	実施・到達状況の目安とする指標	把握方法	目標値/目標状態	目標達成時期
<p>不登校や何らかの理由で学校の勉強に遅れが出ていた子供一人ひとりのペースに合わせた学習支援を大学生が中心となって行っている。子供たちに勉強に対しての意欲が表れてタブレットを使っての学習もできるようになっている。学習支援に参加してくれる学生や若者が増え、学生ボランティアの人数も増えている。学習支援のお手伝いをする事で障がいを持つ人も活躍できる居場所となっている。市内の小中学校、高校、行政やスーパーなどに定期的に発行する広報誌を掲示できる。</p>	<p>①学習支援開催実績数 ②子どもの参加者数 ③大学生や若者の参加者数 ④障がいを持つ人の参加者数 ⑤広報誌の配布場所の件数</p>	<p>①学習支援の開催実績のカウント ②実際の子どもの参加者数のカウント ③実際の大学生や若者の参加者数のカウント ④実際の障がいを持つ人の参加者数のカウント ⑤広報誌の配布場所の件数のカウント</p>	<p>①学習支援開催実績週1回(計36回) ②子供たちの参加者数延べ150名 ③大学生や若者の参加数延べ180名 ④障がいを持つ人の参加者数延べ80名 ⑤広報誌配布件数20か所</p>	<p>①2022年2月 ②2022年2月 ③2022年2月 ④2022年2月 ⑤2022年2月</p>

(4)活動	時期
不登校や引きこもりに悩んでいる子どもや親の居場所として運営している「風の家」において毎週木曜日の夕方6時から9時までの3時間、大学生が中心となって不登校に悩んでいる子ども、何らかの理由で塾に通えない子どもたちを対象とした無料の学習支援を行う。	2021年6月～2022年2月
毎週水曜日に運営している居場所「風の家」において通ってくる子供たちの話相手や学習のサポートを行う。	2021年6月～2022年3月
学生ボランティア（ユースボランティアはためく）が中心となってLGBTの啓発活動を企画開催する。	2021年6月、9月、12月
地元の歴史や自然体験などのウォーキングイベントを開催する。	2021年7月、10月
夏休み中に子供たちが楽しめる夏まつりを開催する。	2021年8月
活動の内容を知ってもらうためにNPO法人風車のホームページを作成する。	2021年7月
団体の活動を地域の方々に知ってもらい会員の拡大に繋げるための活動紙の発行。	2021年6月～2022年2月で毎月1回

IV.事業実施体制

<p>(1)メンバー構成と各メンバーの役割</p> <p>現役大学生及び大学卒業生、教職経験者の学習支援。また、勉強だけでなく悩みを聞いたり話相手の役割も担う。また、教職経験者は、保護者の悩み相談の役割も担う。風車メンバーの中で不登校や引きこもりで悩んだ経験のある者が、現在悩んでいる親たちの話相手としての役割を担う。風車メンバーが夏休み中の夏まつりなどのイベントや居場所「風の家」での学習支援の際のおやつや飲み物の用意や子どもたちのお世話係の役割を担う。学生ボランティアと行政や各団体、学校などの連携体制を繋ぐ役割は、理事長である渡邊英子が担う。</p>
<p>(2)他団体との連携体制</p> <p>市内小中学校と役所の子供課、福祉課、社会福祉協議会と情報の共有を含め常に連携体制を取りながら進めていく。子どもに対する支援を行っている他の団体を訪問・視察し、活動の改善の参考にする。</p>
<p>(3)想定されるリスクと管理体制</p> <p>きめ細かな学習支援を行う上で、ソーシャルディスタンスをとることが難しいところもあるので感染予防対策として飛沫防止パネルの設置、換気、検温、マスク着用、こまめな手洗い消毒を徹底する。個人情報の取り扱いについては、慎重に行う。</p>